

開講科目名 / Course	母性看護援助論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	濱 耕子	
担当教員名 / Instructor	徳丸 由布子、永松 いずみ、濱 耕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	10	
科目の目的と概要	分娩期、産褥期、新生児の生理と異常および心理・社会的特徴とその看護について学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩期の異常と看護について述べるができる。 2. 産褥期・新生児の生理的变化について述べるができる。 3. 褥婦と新生児の状態をアセスメントすることができる。 4. 褥婦・新生児の正常や異常経過およびその看護について述べるができる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. ガイダンス、分娩期出血、産科処置等 02. 産褥期の経過 03. 産褥の異常と看護 04. 褥婦のアセスメント 05. 褥婦の看護 (1) 褥婦と家族の看護 06. 褥婦の看護 (2) 施設退院後の看護 07. 新生児の生理 08. 帝王切開を受ける産褥婦の看護 09. 新生児のアセスメント・看護 10. 新生児の異常と看護 	
その他の授業の工夫	事前学習 ノート在完成させながら知識の定着を図る。	
時間外学修	事前学修：系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論のテキストに目を通して講義に臨む（9h）。 事後学修：テキストや配布資料を用いて復習する（10h）。	
評価方法と評価割合	筆記試験（分娩期10%、産褥期60%、新生児期30%）から評価する。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論（医学書院） 病気がみえる vol.10 産科（メディックメディア） 講義の中で適宜、資料を配布する。	
参考書		
履修する上で必要な要件	母性看護学概論、母性看護援助論 を履修済みであること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	濱耕子：病院の助産師 永松いずみ：病院の助産師 徳丸由布子：病院の助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	エビデンスに基づいた看護と臨床経験をいかした看護を実践し、その理論と確かな技術を学生に指導する。	